

英国における感染管理体制

聖路加国際病院 沼口史衣
慶応義塾大学病院 高野八百子

英国における感染管理の歴史

- 1959年 院内感染への社会的関心↑
- 1980年代 ICNの役割を政府が認識
- 1987年 Cook Report: 感染管理体制の法的基盤
- 1994年 MRSA発生率などをICNA(感染管理看護師協会)が政府に報告 → ICNの重要性を政府が認識
- 1996年 院内感染全国調査
1/10に定着・感染 → 社会的関心
190施設のSSIサーベイランス → 資金不足で中断
- ICNAが耐性菌、CJDについて政府に情報提供
→ 感染対策予算増額

感染管理体制に関する法的規制

1987年 Cook Report

(英国政府の感染管理ガイドライン)

「すべての医療機関は、適切な人員から構成される感染管理チームへのアクセスを有すること」

- ICTの平均配置割合: 400~600床に1チーム
- 小規模病院は近隣病院のICTと契約

英国の院内感染管理体制

Infection Control Committee

(感染予防委員会: 3ヶ月に1回程度開催)

病院管理者、QA責任者、外科医、薬剤部、臨床検査部、
清掃・洗濯・栄養課など



Infection Control Team

(感染管理チーム)

- Medical Microbiologist (医師で微生物学を修めた者)
- 専任 Infection Control Nurse (感染管理看護師)
- (秘書)

Medical Microbiologist

- 医師で微生物学を修めた者
- 全英で専任は4人、ほとんどが兼任
- 外科医師らと院内ラウンド
- 抗生剤使用の管理
- 調査研究活動

Infection Control Nurse 感染管理看護師

- 感染管理を中心的に担う: Quality Assurance Standard(医療の質管理基準)に含まれる感染管理20項目を実践

- サーベイランス
- コンサルテーション
- アウトブレイク防止
- 医療処置・ケアの評価及び改善指導
- マニュアル作成
- 感染防止教育
- 水質・廃棄物の管理など

Infection Control Nurse について

- ICNの平均配置割合: 480床に1人
- 学歴: 約50%が短大(専門)
約50%が学士以上
- 感染管理教育: 基礎教育に含まれる
- 専門(継続)教育: さまざまな形態、期間

英国感染管理専門家

Susan MacQueen

- Dept of Microbiology and Infection Control, Camelia Botnar Laboratories, Great Ormond Street Hospital for Children NHS Trust London
- 1997-2000: Chairperson of Infection Control Nurses Association and UK Representative on Hospital Infection Advisory Board

Lauren Elizabeth Tew

- Infection Control Nurse Manager for Bath Health Community
- Infection Control Nurses Association, Education Coordinator